

(2) 長春

長春

S 1.1.1.0-8 3377

0309

REEL No. A-0077

0204

アジア歴史資料センター

大臣
電信課長
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

(分類 A 1.1.0.21-1)

老内付

昭和6 一二六九七 暗
長春 十九日前發
本省 九月十九日前着 亞
幣原外務大臣
第九三號
田代領事
往電第九二號ニ關シ
萬一ヲ慮リ城内邦人ノ附屬地ニ引揚ケ手配(脱?)收容中ナルカ南嶺及寬城子ニ赴キタル我軍ノ銃聲午前五時盛ニ開エ始ム
支、北平、南京、奉天、吉林、哈爾濱、安東、牛莊、遼陽及鐵嶺へ
轉電セリ

S 1.1.1.0-8 3378 0310

外務省

編附言
原書
A 1.1.0.21
滿洲日支軍衝突
事変關係件ニ存

寫

(分類 A 1.1.0.21-1)

昭和6 一二七四六 暗
長春 十九日後發
本省 九月十九日後着
幣原外務大臣
第九五號
田代領事
往電第九四號ニ關シ
一寬城子駐屯ノ歩兵四個中隊ノ大部分カ武装解除ヲ了シタルモ一部分ハ頑強ニ抵抗シタル爲砲撃ヲ加ヘ午前十時半完全ニ兵營ヲ占領セリ右戦闘ニ於テ支那側死者十三名負傷者廿一名日本側死傷約廿名尙軍部ニ於テハ東支線寬城子停車場所在ノ運轉材料ヲ押收ノ豫定ナリト(前電我方軍隊二個中隊トシタルハ三個中隊ノ誤)
二南嶺駐屯砲兵及歩兵各一聯隊ニ對シテハ公主嶺ヨリ來援ノ騎兵一

S 1.1.1.0-8 3379 0311

外務省

個中隊及守備隊二個中隊ヲ加へ五個中隊ヲ以テ目下交戦中
ニ當地支那町住在邦人ハ醫師二名ヲ除クノ外全部附屬地ニ引揚ケヲ
了セリ
四 吉林居留民ハ同地總領事館ニ收容ノ手配ヲ爲シ吉林關係家族十二
三名ハ當地ニ引揚ケタリトノ情報アリ
五 滿鐵東支吉長三線トモ目下ノ處多少發着不規則ナルモ大体平常通
リ運行シ居レリ
六 在旅順三十聯隊ハ當地ニ出動旅團長ノ指揮下ニ入ルコトトナレリ
支、南京、北平、在滿各領事ニ轉電セリ

(赤枠紙)

外
務
省

S 1.1.1.0-8

3380

0312

REEL No. A-0077

0205

アジア歴史資料センター

秘

昭和6

暗

長春
本省 九月廿日 後着

亞

箱場

幣原外務大臣

田代領事

第九七號

往電第九六號ニ關シ

一 本日午後四時半南嶺支那軍隊ノ武装解除交渉ニ赴キタル憲兵分隊
長及市公安局長ノ一行カ現場ニ到着セルトキハ支那兵既ニ遁走後ニ
シテ目的ヲ達セス同所ノ戦闘ハ相當ノ激戦ニシテ我方死者倉本大尉
外二十九名負傷小笠原中佐外五十九名ニ達セリ我方ハ同兵營ノ大砲
全部ヲ破壊シ彈丸ヲ爆破セリ尙寛城子方面我方死傷者ハ往電第九五
號以後判明セルモノヲ加ヘ合計死者二十二 負傷二十八ニ上リ目下

電信寫

一 個中隊ニテ兵營ヲ占領シ警戒シ居レリ
二 支那街軍隊ノ武装解除ハ我方一個中隊ニ郭外交科長附添ヒ午後五
時ヨリ開始平穩ニ午後十一時二十分終了セリ
三 公安局長ハ午後六時半南嶺戰鬥指揮ヨリ歸來セル旅團長ヲ往訪シ
タルカ其際旅團長ハ(一)支那街駐屯軍隊ノ武装ヲ解除スルコト(二)武器
ハ日本軍ニ於テ保管シ事件解決後返還スルコト(三)支那街無電臺ノ要
部ヲ取外シ日本軍ニ於テ保管スルコト(四)公安局巡警ノ武装ハ解除セ
サルモ公安局ハ憲兵分隊長ノ指揮監督ノ下ニ置キ且公安局員一名ヲ
聯絡員トシテ(實ハ人質)憲兵隊長附トスルコトヲ要求シ公安局長
ハ之ヲ承諾シ當省政府ニ請訓ノ上自ラ戒嚴司令ヲ兼ネ支那側兵士ノ
取締ヲ爲シタキ旨ヲ述ヘタル趣ナリ

S 1.1.1.0-8

3382

S 1.1.1.0-8

3381

0313

今夜ハ緬甸地ノ境界ニ充分ノ兵力ヲ配シ領事館ニモ一個小隊ヲ派
シ嚴重警戒シ居レリ尙當館ニ奉安セル御眞影ハ萬一ヲ慮リ今朝聯隊
本部ニ奉遷セリ
其第三十聯隊ハ午後七時過聯隊長以下一部到着シ明朝迄ニ全部來長
ノ豫定ナリ
轉電先前電ノ通

S 11.1.0-8

3383

0314

REEL No. A-0077

0208

アジア歴史資料センター

秘

電信寫

昭和6

幣原外務大臣

第九八號

往電第九七號ニ歸シ

附 長春 本省 九月二十一日前着

田代領事

亞

田代

手島氏付

昨夜來當地地方ハ嚴重警戒ニ平穩無事支那當地公安局ハ今朝來憲兵隊ノ指揮下ニ入り商店モ平常通り開店シタル爲引揚邦人中既ニ任意支那街ニ歸還セル者アリ大體危險モ去リタルモノト認メラルルニ付邦人全部ヲ復歸セシムルコトトセリ
ニ齊城子兵營占領ノ際我軍ハ支那僑兵士並ニ警察官三百五六十名ヲ捕虜トシ且武器ヲ押收シタルカ本日捕虜全員ヲ釋放シ齊城子ノ警察

モ憲兵隊ノ指揮下ニ入レリ
ニ步兵第三十師隊海城野砲兵一箇大隊並ニ旅順重砲隊ノ一部ハ既ニ當地ニ到着シ第二師團司令部モ本日當地移駐ノ豫定ナル由
轉電先前電ノ通り

8 1.1.1.0-8

3385

8 1.1.1.0-8

3384

0315

REEL No. A-0077

アジア歴史資料センター

秘

昭和6

暗

長春
本省

九月廿五日
后

前

田

田代領事

密原外務大臣

第一〇九號

字
秘

九月廿五日

今日日支軍隊衝突ニ依リ長春附近在住鮮人ニ唯今迄ノ處別段異狀ナ
シ唯二十日南嶺戰跡見物ニ赴キタル鮮人四名カ手榴彈ノ爆破ニ依リ
二名即死シ二名重傷ヲ負ヒタル事件アリ尙管内奥地鮮人ノ狀況不明
ナルモ本日萬寶山ヨリ來レル鮮人ノ報告ニ依レハ同方面ハ至極平穩
ナル趣ナリ

轉電先 奉天・吉林・哈爾濱・間島・朝鮮總督

8.11.10-8

3386

0316

REEL No. A-0077

編者附言
原書
11.10.21
満洲日支軍衝突事
支那保存件
其後支那保存件
ニ在リ

寫

(分類 1.1.0.21-1)

昭和6 一三九二四 平 旅順 廿六日後發 亞
本省 九月廿七日前着

永井外務次官 關東廳警務局長

コ第三六四號

前電後

(一)大連

滿洲青年聯盟ニ於テハ日支衝突事件ヲ機ニ支那側ノ暴狀ヲ膺懲シ滿蒙問題ノ徹底的解決ヲ計ルノ要アリトシテ内地ノ輿論喚起ノ爲次ノ如キ遊説員ヲ派遣スルニ決シ一行ハ來ル廿八日大連ヲ出帆「バイカル」丸ニテ出發ノ豫定ナリ(詳細ハ廿四日書面報告)九州地方太田茂三郎外一名中國及四國地方榊原マツ外二名關西地方富田カイスケ

記録名
満洲日支軍衝突事
支那保存件
在留邦人保護及引揚
干渉
(添付紙)ト

外務省

6.3 S 1.1.1.0-8 3387 0317

外三名關東地方伊藤サカイ外三名東北地方小川マヌヲ外二名
(二)奉天

本日仲秋節ナルモ城内四五割城外一割開店シタルニ過キス通行者ハ相當アリ午後一時頃元公安局ヨリ出火書類倉庫一棟焼失シタルカ原因不明

地方維持委員會ハ協議ノ上保安隊百名組織ニ決シ軍部ノ諒解ヲ得テ銃器支給ノ豫定ニテ募集ヲ開始セリ自警局員ニハ武器ヲ貸與セサリシ爲應募者少カリシカ本日憲兵隊ニテ協議ノ上小銃並ニ彈丸十發宛所持セシムルコトニ決セリ

(三)長春

伊通縣在留邦人廿名ハ安否ヲ氣遣ハレ居タル處本日午後六時同地出

外務省

6.3 S 1.1.1.0-8 3388 0318

張所巡查ト共ニ無事公主嶺附屬地ニ避難シ來レリ

(赤印紙ト)

外務省

6.3
S 1.1.1.0-8 3389

0319

REEL No. A-0077

0319

アジア歴史資料センター

機密公第四一〇號

昭和六年九月二十六日

在長春

領事 田代 重

重



外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

引揚干係

懷德縣城邦人全員引揚ニ關スル件

今回在滿日支軍ノ衝突事件發生事態重大トナルヤ十九日以來懷德縣城ハ殺氣旺盛シ同地我警察官出張所前ニ群衆殺到帝國ヲ罵倒シ續イテ在留邦人ニ危害ヲ加ヘントスル氣配濃厚トナリ通信機關亦杜絶ノ状態トナリタル爲メ二十日午前八時我出張所該警察官ハ事態急一應引揚クルコトノ可ナルヲ知り直チニ縣公安局長ニ交渉ノ上在留邦人全員(四名)ト共ニ公安馬隊二十名ニ護送サレ同日午後五時范家屯驛着當地ニ引揚ケタリ

在長春日本領事館

昭和六年九月二十六日 受

田代重

S 1.1.1.0-8

3390

0320

右報告ス

本信寫送付先 奉天

關東長官

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8

3391

0321

引揚子係

機密公第四一七號

昭和六年九月三十日

在長春
領事 田代重



外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

伊通縣在留邦人引揚ニ關スル件

本月二十五日管内伊通縣駐在我警察官ハ時局ニ鑑ミ此際同地在留邦人全部ノ引揚ケト同時ニ同警察官モ同道引揚可然ヤニ關シ本官ニ伺出ア
リ本官ハ右一應ノ引揚ハ安全ヲ期スル上ニ必要已ムヲ得サル事態ナリ
トセハ右ハ任意ノ引揚トシテ差支無キ旨傳ヘ置キタルカ二十六日午前
五時同警察官ハ在留邦人(全部)十戸二十名ヲ伴ヒ同地發公安馬隊十
二名保安馬隊十一名ニ護衛サレ同日午後六時無事公主嶺ニ到着右引揚
在留民ハ一部ヲ除キ目下公主嶺支那宿悅來棧及泰來棧ニ投宿中

在長春日本領事館

本信寫送付先 在華公使 奉天 吉林

關東長官

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8 3393

0323

S 1.1.1.0-8 3392

0322

記録係

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

(分類 A.1.1.0.2/-1)

昭和6 11月5日 暗 長春 六日後發 本省 十月七日前着 亞

幣原外務大臣 田代領事

第一四一號 (至急)

貴電合第七七七號ニ關シ

(一)長春ハ(イ)城内及商埠地ヲ一括スル市公安局ニ憲兵分隊長以下十一名ノ憲兵治安維持ノ爲(ロ)城内發電所ニ兵六名警戒ノ爲(ハ)城内電報電話局ニ將校一兵六名檢閲並保護ノ爲(ニ)吉長管理局ニハ兵八名ヲ保護ノ爲(ホ)寬城子ハ兵營ニ兵八名ヲ步哨トシテ及路警處ニ三名ノ憲兵ヲ治安維持ノ爲(ヘ)南嶺兵營ニ步哨ノ爲將校一兵二十四名ヲ派シ居リ(無線電臺ハ數日前ヨリ撤回セリ)(三)公主嶺ニハ本關係事

外務省

S 1.1.1.0-8 3394 0324

情ナク(三)四平街ハ四洮局ニ兵六名保護ノ爲支那街卍字會ニ兵四十名公安分局ニ憲兵三名四洮線三鴻興ニ兵十一名夫々治安維持ニ當ル(四)尙吉長鐵道警備ニハ守備隊第六大隊當リツツアリ
(一)長春ハ晝夜各一回兵四名ヲ一組トシ城内發電所及電報電話局ニ聯絡巡回ヲ行ヒ(二)公主嶺ハ晝間二回兵約二十名(場合ニ依リテハ四、五十名)ヲ以テス其他騎兵巡察モ行ハレ居ルカ回数不定員數ハ數名ニ過キス(三)四平(街)ハ晝夜四時間毎ニ兵七、八名ヲ以テ巡察ス
(四)長春ニハ吉林、奉天ヘノ聯絡並ニ各地ヘノ偵察任務ノ爲六臺ノ軍用飛行機アリ
公使、奉天、吉林、北平ニ轉電セリ

外務省

S 1.1.1.0-8 3395 0325

照細亞局

第三號

昭和六年十月十四日接受

樺邊公第四四六號

V別紙添附

昭和六年十月七日

在長春

領事

田代

重



外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

當地ニ於ケル各地引揚避難民狀況ニ關スル件

時局勃發以來各地ヨリ避難來長シタルモノ別表ノ通吉林方面ヨリ二
○九名哈爾濱方面ヨリ六八八名南滿沿線ヨリ四七名其ノ他ノ地方ヨ
リノモノヲ合シ合計一〇七五名ニ達シタル處之等ノ内大部分ハ南下
シ當地ニテ市内旅館ニ投宿或ハ親類知己ヲ頼リ寄宿セルモノ若干ア
リ差當リ行先ナキ者ヲ地方事務所ニ於テ世話スルコトトナリ滿鐵俱
樂部、公學校ニ收容中ナリシモ當地ニ滞在ノモノハ原住地ノ情勢危
期ヲ脱シ小康ヲ得ツツアルニ依リ漸次歸還シ吉林ヨリノ引揚者モ客

在長春日本領事館

月三十日迄ニ大體復歸セリ
右報告申進ス

本信寫送付先 在華公使 北平

奉天 吉林 哈爾濱 齊齊哈爾

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8 3397 0327

S 1.1.1.0-8 3396 0326

月日	當地ニ引揚	引揚地	人員	内地人	備考
二十日	吉林	吉林	一八七	〃	滿鐵クラブ又ハ市中旅館投宿或ハ南下
二十四日	哈爾濱	哈爾濱	二九八	〃	滿鐵社員家族ヲ主トスル婦女子第一回引揚者ニシテ大部分ハ即日南下
二十五日	哈爾濱	哈爾濱	一〇〇	〃	國際、三井、正金、鮮銀、正隆及滿鐵關係婦女子第二回引揚者ニシテ公學校ニ十名收容他ハ市内知己ヲ頼リ寄寓或ハ南下セリ
二十六日	齊齊哈爾	齊齊哈爾	二〇〇	〃	全部南下
二十七日	哈爾濱	哈爾濱	一〇〇	〃	滿鐵公所員家族ニシテ滿鐵公學校ニ收容後南下セリ
十月二日	海龍	海龍	三〇	〃	吉林經由當地ニ避難直ニ南下
四日	海龍(山城子、柳河)	海龍(山城子、柳河)	二二二	鮮人	〃

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8

3399

0329

月日	當地ニ引揚	引揚地	人員	内地人	備考
九月十九日	長春城內附屬地鐵道北	長春城內附屬地鐵道北	四五	内地人	南嶺寬城子攻撃開始ト共ニ引揚ヲ勸告シ長春警察署武道場ニ收容城內武裝解除後漸次復歸現在避難者ナシ
〃	下九臺	下九臺	二〇	〃	滿鐵俱樂部ニ收容
〃	吉長線	吉長線	一六	〃	滿鐵派遣吉長從業員家族市内ニ空家ヲ借り避難
〃	南滿線	南滿線	一四	〃	滿鐵クラブニ收容
〃	吉林	吉林	一三	〃	滿鐵クラブ又ハ市中旅館投宿或ハ南下
〃	南滿屯	南滿屯	三三	〃	大屯驛勤務滿鐵家族午前十時避難來長滿鐵クラブニ收容

在長春日本領事館

S 1.1.1.0-8

3398

0328

寫送先

會文人文情條通歐
計書事化報約商米

次官
亞細亞
大臣

電信課長

1.1.10.21-1

昭和6 一五二三七 暗 長春 八日後發
本省 十月八日後着 亞

幣原外務大臣

第一四四號

官發朝鮮總督宛電報

第四號

奉天發貴總督宛電報第八八號ニ關シ

尙長春ハ未タ避難者現ハレサルモ四平街連花街方面乃至四洮線ヨリ

ノ避難民日々増加シ右救濟金支出ノ途ナシ就テハ當館ヘモ相當額至

急御配賦相成様致度シ

大臣、奉天へ轉電セリ

外務省

6 1.1.1.0-8

3401

0331

計		
1043	1050	五
二五	内地人	鮮人
備考		
地方事務所ニ於テ收容シタルモノ 百七十一名		
市内旅館ニ宿泊セルモノ 二十三名		

在長春日本領事館

6 1.1.1.0-8

3400

0330

臣細亞爾

機密公第四五四號

昭和六年十月十日

在長春

領事 田代 重



昭和六年拾月拾四日接受

0332

外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

時局ト管内奥地鮮人ニ關スル件

管内奥地各方面鮮人ヨリノ報道ニ據レハ時局ニ關聯シ地主及ヒ部落
民ノ感情ハ軟化シタル傾向アルモ敗散兵ノ通過ヲ見ル場合ニハ種々
ノ暴行アルモノトシテ警戒ヲ要スル一方官憲側ハ嚴重ナル監視的態
度ニ急變シ日本官憲ニ對シ地方事態ヲ惡化セシムルカ如キ通信連絡
ヲ取ルモノアラハ容赦ナク退去ヲ命スヘシト威嚇シツツアル地方モ
アリテ鮮人ノ出入自由ナラス敗散兵ノ通過ニ際シ地主ハ鮮農婦女子
ヲ各地主ノ家屋ニ收容隱匿シ男子ハ適宜高粱畑ニ避難シテ無事ナル
ヲ得タル地方モアリタル由ナルモ避難シ得サリシ場合ハ暴行ニ遭ヒ

手

S 1.1.1.0-8 3402

ツツアリ幸ニシテ目下ノ處大ナル被害ヲ見スシテ經過セリ避難者ハ
伊通縣蓮花街方面ヨリ及ヒ四洮綽輿地ヨリノ四平街ヲ通過スル者日
日數名ニ上リ四平街鮮人會ノ救濟ヲ受ケツツアリ他ハ未タ之レヲ
見サルモ奥地ニ在ル者ハ謠言ニ迷ハサレ易ク敗散兵ハ轉々何レニ至
ルヤ計リ難キ此際何時如何ナル事態ノ突發スヘキヤ懸念サルヘキ事
情充分アリ各縣人民會側ニ於テ之レカ善後策ニツキ頻リニ當館ニ對
シ考慮方申出居ル處事態急ヲ告ケサル限り徒ニ流言ニ迷ヒ輕卒ニ引
揚クヘカラサル旨ヲ諭シツツアルモ彼等ニ取リテハ現地保護ハ望ム
モ能ハスサリトテ引揚モ出來難キ昨今各地ヨリ傳ハル鮮農ノ避難ヲ
知ルニ及ヒテハ極度ノ不安ニ藉ラレツツアル次第ナリ

本信寫送付先 在華公使 北平 奉天 吉林 哈爾濱

鐵嶺 安東 朝鮮總督 關東長官

S 1.1.1.0-8 3403 0333

寫送先

會文人文情條通歐
計書事化報約商米

次大臣

電信課長

亞細亞

⑤

⑤

(分類 1.1.1.0-1)

昭和6

一六一〇三 暗

長春 本省

十月十五日 後發

亞

幣原外務大臣

田代領事

第一五六號

閣下發奉天總領事宛電報第二五九號ニ關シ

(一)イ、吉長及滿鐵中間驛ヨリ長春、公主嶺、四平街ノ三地ニ引揚ケタル主トシテ婦女子百二十五名(鮮人四名ヲ含ム)伊通カイトク奥地ヨリ管内附屬地ニ引揚ケタルモノ男二十四名女十四名(鮮人男女各三名ヲ含ム)此外管外ニ引揚ケタルモノ奉天男一名大連女二名鐵嶺鮮人男一名女三名ナリ(奥地引揚者以外ハ滿鐵關係家族大部ヲ占メ殆ト全部原住地ニ復歸セリ)

外務省

S 1.1.1.0-8

3404

0334 (29)

ロ、寛城子南嶺攻撃ニ當リ城内及鐵道北ヨリ長春附屬地ニ一時避難セルモノハ大部分分宿中一部成年男五名婦女子三十九名ハ滿鐵俱樂部ニ收容セラレタルモノ全部俸給生活者及其家族ナリ

(二)他管内ヨリ引揚ケ目下長春ニ居ル者三名(滿鐵社員家族)四平街ニ男二十一名女二十八名(四洮線避難者内鮮人男三名女五名)アルモノ之等ニ對シ救護ヲ加ヘ居ラス

(三)管内奥地鮮農ハ約二千名ニシテ目下ノ處比較的平穩動搖ナキモ現ニ四平街警察ノ報告ニ依レハ通遼及八面城内ノ鮮農數百名近ク同地ニ引揚ケ來ル趣ニテ時局ノ推移如何ニ依リテハ更ニ吉林、哈爾濱管内ヨリモ避難シ來ルヘク差當リ見込立タサルモ斯カル場合ヲ考慮シ相當額ノ救護費計上ヲ希望ス

外務省

S 1.1.1.0-8

3405

0335

懸案

公文書	別紙御参考迄ニ送付ス	件名	時局ト長春奧地鮮人ニ関スル件
		人名	堀切 次官
受信	振務者	發信	永井 次官
主	亞細亞局長	任	亞細亞局第二課長
管	亞二機密第一〇三四號	昭和六年拾月廿日附	附屬書
文書課發送	昭和六年拾月廿日發送済	淨書	別紙 (甲號用紙)
起草	昭和一〇三〇年拾月廿日	正校	原稿

S 1.1.1.0-8

3407

20 44 0337

外務省

(四) 内鮮人引揚ニ對シ當館トシテハ既ニ支出シタルモノナシ

(五) 鮮人ハ内地人ト雜居收容困難ナレハ民會ヲシテ住宅、食事、鮮内送還等ノ世話ニ當ラシムル外ナシ目下鮮人一日ノ食料一人十五錢見當

(六) 敗走兵等ニ依ル被害奥地鮮農ニハ多少アル模様ナルモ本月十日迄ニハ何等確報ニ接シ居ラス

S 1.1.1.0-8

3406

0336

REEL No. A-0077

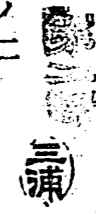
アジア歴史資料センター

亞細亞局
關機高鮮第四六九一號ノ二

昭和六年十月三十日



關東廳警務局長



昭和六年十一月六日 接受

拓	内務	外務	陸軍	海軍	陸軍	海軍
官	官	官	官	官	官	官
長	長	長	長	長	長	長
殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿

時局ト興地鮮邊ノ保護願出

1
吉林省永吉縣玻璃泥河西大地ハ邊春ヲ距ル東方約十三里ノ部落ニシテ鮮
邊十一戸七十餘名在留シ水田約五十天地ヲ小作シ居レルカ本月十九日

S 1.1.1.0-8

3408

0338

右部落ヲ代表シ李明玉ナル者長春領事館警察署ニ出願シ同地方ハ萬寶
山事件以來地方中閩官民ヨリ嫌疑セテレッツアリタル際客月二十日中
國敗殘兵十二名同部落ニ來リ中國人百家長方ニ宿泊シ其後敗殘兵逐次
増シ三十餘名ニ及ヘルカ本月五日敗殘兵ハ鮮邊ヲ殺害スヘントノ風説
アルヲ以テ同日夕刻ヨリ附近高粱畑中ニ隠蔽シ居タル處此ノ間何者カ
ニ李明玉方室内ニ侵入シ布團及衣類等時價金三十五圓ノ物ヲ竊取サレ
居タルノミニテ其後何等ノ迫害ナカリシモ本月十日頃李明玉外二名所
有稻百束時價金十五圓ヲ竊取シタルモノアリ是等ハ何レモ敗殘兵及部
落中國人トノ共謀ニ因ルモノト思料セラル

其ノ他ノ鮮邊ハ未タ何等ノ被害ナシト雖モ敗殘兵ハ目下地方中國人有
販者ヨリ金品ヲ徵發シテ宿營シ居リ鮮邊ニ對シテハ糧ヲ賣捌キタル後
多額ノ金ヲ要求シ若シ應セザルトキハ掠奪ヲ爲スヘク其ノ機會ヲ狙ヒ

2

S 1.1.1.0-8

3409

0339

居ルモノノ如ク斯クテハ收獲後ノ居住危険ナレハ本月下旬迄ニ收獲完了スルヲ以テ小作料ヲ支拂ヒ殘額概約三百石ハ安全地帯タル長春ニ運搬スルト同時ニ在留難民各部モ一應同地ヲ引揚ケル心組ナルモ其際必ス敗殘兵等ニ阻止サルルノミナラス糧家財等ヲ掠奪セラルル虞アルヲ以テ警察官ヲ派遣保護セラレタシト願出アリ

右ニ關シテハ長春領事館警察署ヨリ直ニ所轄吉林總領事館警察署宛移牒シタル由ナルモ御參考迄

以上

S 1.1.1.0-8

3410

0340



寫送先

大臣 次官
電信課長
亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

(分類 1.1.1.0-8 / 2-1)

長官へ轉電セリ

外務省

1.1.1.0-8 3412

0342

昭和6 一七八七五 暗
幣原外務大臣
第一六二號
避難鮮人引續キ管内各地ニ到來シ二十四日現在收容シタルモノ四平街五百三十四名公主嶺百二十名長春三十四名ニ及フ公主嶺へハ更ニ三百名見當到來ノ情報アルモ右ハ何レモ平定ヲ待テ現地(公主嶺西方十三四邦里五家子方面)ニ歸還セシメ得ル見込ナルカ四平街及長春ニ收容シタルモノハ掠奪放火ニ遭ヒ歸ルニ家ナキ趣ニテ急ニ歸還セシムルコト困難ナリト存セラル
公使、北平、奉天、吉林、哈爾濱、鐵嶺、鄭家屯、朝鮮總督、關東

外務省

1.1.1.0-8 3411

0341

記録簿
滿洲日支衝突事變關係一件
在り人係... 引揚...

夏和亞司

關機高鮮第五七六〇號ノ二

秘

昭和六年十二月二十一日

關東廳警務局長

昭和六年三月廿六日接受

0343

拓務	內務	外務	警務	北務	兵務	愛知	福知	朝鮮	間島	哈爾濱	關東	關東	關東	滿洲
次官	記官	次官	保長	總長	廳長	各府縣知事	各警務局長	各總領事	各總領事	各總領事	各總領事	各總領事	各總領事	各總領事
股	股	股	股	股	股	股	股	股	股	股	股	股	股	股

任
中
人

§ 1.1.1.0-8

3413

長春税捐局監視員トシテ鮮人使用ト今後ノ注意

對十二月十二日附關機高鮮第五五九一號ノ二ノ第二項

0344

長春税捐局ニ於テハ寶山燐寸經理前田伊織等ノ幹施ニヨリ脱税燐寸監視員トシテ發見脱税品罰金ノ三割ヲ報酬トシ避難鮮農ヲ採用スヘク計盤中ナリシ件ハ既報ノ處愈々本月八日ヨリ東北火柴公賣所調査員佐藤伸太郎ヲ監督トシテ避難鮮農十名ヲ採用脱税燐寸ノ監視ニ當ラシメ居レルカ一日平均一人ニ付三圓内外ノ收入アリ好成绩ヲ擧ケツツアルモ取締嚴重ト共ニ脱税品ノ減少ニ伴ヒ之等ノ鮮人監視員中税捐局監視員タル身分ヲ悪用シ不正行爲ニ出ツルコトナキヲ保シ難キヲ以テ斯カル行爲ノ發生ヲ防止スヘク注意中

以上

§ 1.1.1.0-8

3414

芳

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

人文

人文

文書

會計

寫送先

(分類 A. 1.1.0.21-1.)

昭和6 二三一八三 暗

本省 十二月二十三日後着

亞二

犬養外務大臣

田代領事

第二〇九號

(在滿引揚者十一月末現在敷報告方ノ件)

閣下發奉天宛第三四一號御訓電ニ關シ取纏メニ時日ヲ要シタル爲漸

ク出來上リタルモ長文ニ付書面報告ス尙閣下發奉天宛第三五〇號御

訓電調書ハ目下作成中ニ付右併セテ御了承ヲ請フ

外務省

0345

3415

S 1.1.1.0-8

REEL No. A-0077

0226

アジア歴史資料センター

亞細亞局
普通公第六〇四號

昭和六年十二月二十三日

第三〇四號

昭和六年十二月廿八日接受
別紙添附

在長春
領事 田代重德



外務大臣 犬養毅 殿

避難内鮮人調査方ニ關スル件

本件御訓電ニ關シ十一月三十日現在調査内容別表ノ通りニ付右茲ニ報告ス

本信寫送付先 在華公使 奉天 吉林 哈爾濱 間島 鐵嶺
安東 鄭家屯 農安
朝鮮總督 關東長官

S 1.1.1.0-8

3416

0346



長春ノ部(十一月三十日現在)

(一)ノ	(二)ノ	(三)ノ	(四)ノ	(五)ノ	(六)ノ	(七)ノ	(八)ノ
内地人成年男子	同 婦女子	朝鮮人成年男子	同 婦女子	日本内地朝	鮮滿	洲支那本部	其 他
二	二	二七	四三	七〇	二一六	二一六	
名	名	名	名	名	名	名	名

合計

二九〇名

S 1.1.1.0-8

3417

0347

合計	(-)ノ(-)				日本内地朝	鮮滿	洲支那本部其	他
	内地人成年男子	同 婦女子	朝鮮人成年男子	同 婦女子				
小計	七	五	二	名				
累計					三六八名		七名	

四平街ノ部 (十一月三十日現在)

S 1.1.1.0-3

3419

0349

合計	(-)ノ(-)				日本内地朝	鮮滿	洲支那本部其	他
	内地人成年男子	同 婦女子	朝鮮人成年男子	同 婦女子				
小計	三	二	一	名				
合計	三八	二二	一六					
	一四	一〇	四					
	一九	八	一					

公主嶺ノ部 (十一月三十日現在)

S 1.1.1.0-3

3418

0348

合計

二七三名

小計	同 鮮人成年男子		同 鮮人成年女子		内地人成年男子		内地人成年女子	
	同 鮮人成年男子	同 鮮人成年女子	同 鮮人成年男子	同 鮮人成年女子	内地人成年男子	内地人成年女子	内地人成年男子	内地人成年女子
七三	三四	一六	一八	一〇	一五	三三	一五	三三
一四二	四	三	二	二	三	三	三	三
五八								

八 五 五 (五)

長春ノ部 (十一月三十日現在)

(一)
(四)

避難滞在者
同歸還者
被救済者
同歸還者

S 1.1.1.0-8

3421

0351

其他	滿洲	朝鮮	日本内地
一九名	二三〇名	一一五名	四名
同 鮮人成年女子	同 鮮人成年男子	同 鮮人成年女子	同 内地人成年男子
一八	一七五	七四	二二
	四六	〇五	

S 1.1.1.0-8

3420

0350

合計	(一)ノ(四)				避難滞 在者 同 歸還者
	内地人 成年男子	同 婦女子	朝鮮人 成年男子	同 婦女子	
小計					
合計					避難滞 在者 同 歸還者
三四五名					被救護 收容 者
四名					同 歸還者

四平街ノ部(十一月三十日現在)

8 1.1.1.0-8

3423

0353

合計	(一)ノ(四)				避難滞 在者 同 歸還者
	内地人 成年男子	同 婦女子	朝鮮人 成年男子	同 婦女子	
小計					
合計					避難滞 在者 同 歸還者
六八名					被救護 收容 者
					同 歸還者

公主嶺ノ部(十一月三十日現在)

8 1.1.1.0-8

3422

0352

合計	同 婦 女 子	朝 鮮 人 成 年 男 子	同 婦 女 子	内 地 人 成 年 男 子	(-) / (+)	長春ノ部 (十一月三十日現在)	
						引揚 滞 在 者 同 轉 出 者	現 被 救 護 收 容 者 同 轉 出 者
九八	六二	三六				一七六	一七六
						九	九
						七	七
						二	二
						九	九

二八三名

8 1.1.1.0-8

3425

0355

滞在現在數 七六名
 收容現在數 無
 歸還者 二六九名

8 1.1.1.0-8

3424

0354

		(一)ノ(二)			西平衛ノ部 (十一月三十日現在)	
		内地人成年男子	同 婦女子	朝鮮人成年男子	同 婦女子	小計
引揚滞在者	同轉出者	一	一	五	一	一六
被救護收容者	同轉出者	九〇	二五一	三四一	九	二七
合計						三八四名

滞在現在數 四五八名
 收容現在數 九八五名
 轉出者 七三名
 累計 一五一六名

S 1.1.1.0-8

3427

0357

三八〇

		(一)ノ(二)			公主嶺ノ部 (十一月三十日現在)	
		内地人成年男子	同 婦女子	朝鮮人成年男子	同 婦女子	小計
引揚滞在者	同轉出者	一	一〇	一〇	二一七	三四四
被救護收容者	同轉出者	一三四	三三四	四六八	一九	三七
合計						八四九名

S 1.1.1.0-8

3426

0356

三八〇

(2) 教科書 朝鮮總督府編纂教科書（古本、學校在品）ヲ臨時貸與
セリ其ノ種類程度左ノ如シ

國語科 普通學校國語讀本 卷一

〃 〃 卷二

朝鮮語科 朝鮮語讀本 卷一

〃 〃 卷二

〃 〃 卷三

算術科 算術書 一年程度

〃 〃 二年程度

〃 〃 三年程度

(3) 學用品 各自辨トス 特ニ貧困者ニハ鉛筆紙等ヲ與ヘタリ

(4) 指導者 本校教員一名 以上

S 1.1.1.0-8

3434

0364

REEL No. A-0077

0364

アジア歴史資料センター